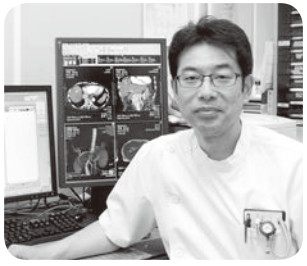
ここが知りたい！米沢市立病院紹介⑭

☆外科編☆



今回は、外科で行われている診療と抗がん剤療法（がん化学療法）について、外科長の菅野博隆医師（写真：右）にお話を聞いてみましょう。

Q 外科は、どのようなことをしている診療科ですか？

A 当科では消化器、乳腺・内分泌疾患の手術治療、抗がん剤療法を中心に、外傷、自然気胸、救急疾患、術後ケア、緩和療法などの診療を担当しています。いずれも一般社団法人日本外科学会外科専門医、一般社団法人日本消化器外科学会消化器外科専門医などの資格を持ったスタッフが診療に当たっています。最近では、内視鏡手術の割合が増えています。

Q 抗がん剤療法（がん化学療法）はどのように行われていますか？

A 当科では、主に消化器癌の術後補助（再発予防目的）・再発転移症例（術後経過観察中の再発症例）の抗がん剤療法および乳癌の全般的化学療法を行っています。当院では、どのような抗がん剤をどのように投与するかの決まり（レジメン）が登録されていて、それに従って化学療法が行われます。

また、現在では外来化学療法室（４床）にて日帰りで行うことが多くなっており、医師および様々な職種のスタッフによるチームで抗がん剤療法を担当しています。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室☎22-2450　**◆ホームページ**／ http://yonezawa-city-hospital.jp/